

## 9月定例会

「建設関係の災害査定実施状況」  
「定額給付金支給状況」を報告

9月定例議会が、9月15日から24日までの10日間にわたり開催され、条例の一部改正や財産の処分（町有林立木）を含む26議案と報告2件の計28件が提案、可決されたほか、20年度歳入歳出決算について認定されました。



## 行政報告

## ◇米の作柄状況について

農政局より発表されました8月15日現在の作柄概況によると、秋田県の県北地域は「平年並み」で、作況指数は99（101）となっております。

また、管内の水稲定点調査においても、

穂数は平年比較で98％とやや少なめですが、1穂着粒数が106％と平年を上回っていることから、今後、台風等の自然災害もなく平年並みの気候で順調に登熟が進みますと、平年作になるものと思っております。

7月の長雨により生育が心配されている野菜についてですが、ネギは、日照不足により軟白不足と細目でM規格が主となっているため、収量は昨年より減少する見込みです。山うどについては、停滞水により根が弱り早期枯れ上がり株が見られますが、今のところ長雨による大きな影響は出ておりません。なお、加工用トマト・小ナスは、7月の降雨・冠水・日照不足により、1本当たりの着花率が少ないため、収量の低下が予想されます。

## ◇立木の処分状況について

今年度予定していた主伐の立木処分は計画どおり終え、4,576万5千円の契約ができ、当初予定していた歳入予算額を1,276万5千円程上回ることができました。このうち、2箇所については財産処分の議案として提案しています。

今回の入札では、世界的な金融危機の影響による景気の後退や原木市場の停滞等悪影響もありましたが、おおむね納得のできる落札価格ではなかったかと感じています。

今後の立木処分については、下水処理施設への助成金を確保しつつ、主伐から収入間伐への移行等、議員の皆様のご意見を伺いながら進めたいと思います。

## ◇定額給付金の支給状況について

現在の景気後退下での住民の不安に対処するため、住民への生活支援を行うと共に、合わせて住民に広く給付することにより、地域経済対策に資することを目的とした、定額給付金ですが、当町では、支給に関わる申請期間を平成21年3月1日から9月2日までの6カ月と定め、そ

の事務を進めてきました。

定額給付金の対象者数は、町全体では4,134人ですが、最終的な申請者は4,127人で支給率は99.8％、支給総額は6,591万6千円となりました。

未申請者に対しては、配達証明書付きの通知を出すなどの手続きを行いました。残念ながら申請できなかった方が7人ありました。その内訳は、住所地にいない：3人、中国に帰った：1人、居所不明：1人、連絡はついたが申請なし：2人となっております。

また、定額給付金の支給に合わせて4月1日から藤里町商工会が町内で販売していた「藤里町お買い得商品券」は大変好評で、8月末日をもって目標の6,500セット、総額7,150万円を完売しております。

## ◇バイオトイレの書附について

先般、秋田県を通じて小林製薬㈱から世界遺産へのトイレ設置活動への参加を打診され、以前からトイレの設置を検討していた「釣瓶落周辺」への設置を要望したところ、それが認められ寄附が実現されたもので、9月11日に世界遺産センターにおいて造定式を行いました。

製品は、正和電工製のバイオトイレで、ログハウス風の概観をしており、カタログでの公示価格は472万5千円ですが、運搬費用や設置までの経費を見積もると約500万円程となります。その他に、今年度は維持管理経費として11万円、来年度以降の5年間については、年間21万